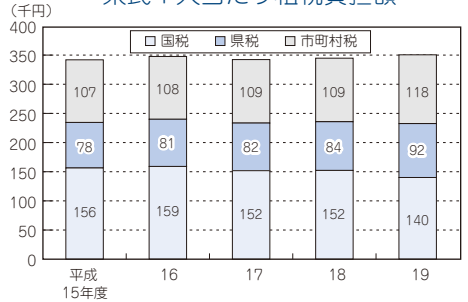


(県一般会計)

平成22年度の本県の一般会計当初予算額は3,345億円となっており、県民1人当たりの歳出予算額を見ると、「教育費」が113千円と最も多くなっており、次いで「公債費」「土木費」の順となっています。

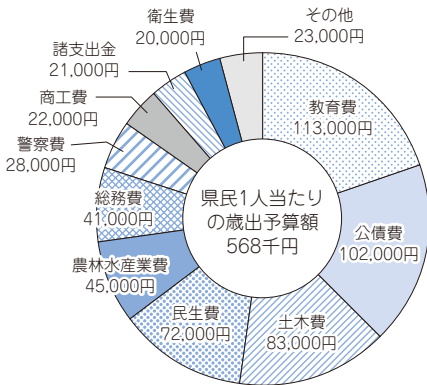
また、目的別予算額の推移を見ると「土木費」「商工費」が減少となっている一方、「教育費」「農林水産業費」はほぼ横ばいとなっています。

県民1人当たり租税負担額



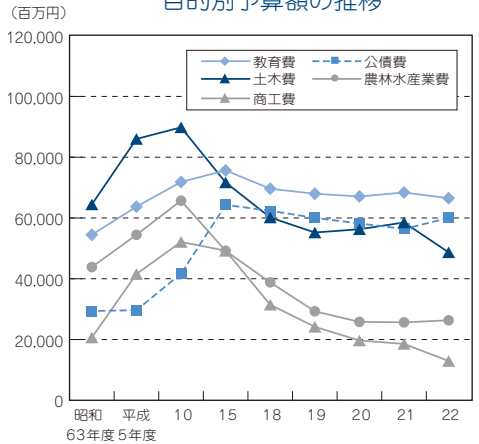
資料 県税務課「税務統計書」

県民1人当たりの歳出予算額 (平成22年度)



※平成22年度一般会計当初歳出予算額を平成22年4月1日現在の県推計人口(588,377人)で除したものです。

目的別予算額の推移



資料 県財政課

一般会計決算額

(歳入)

単位: 百万円

年次	総額	うち主要科目							財政力指数
		県税	地方交付税	使用料及び手数料	国庫支出金	財産収入	諸収入	県債	
平成18年度	376,376	50,435	129,579	4,686	52,489	1,171	36,311	53,808	0.257
19	348,030	55,458	130,892	4,630	44,909	1,980	26,953	52,734	0.269
20	348,514	55,040	131,528	4,490	55,303	1,267	21,292	52,310	0.269

(歳出)

単位: 百万円

年次	総額	うち主要科目									
		総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	警察費	教育費	公債費	諸支出金
平成18年度	369,584	22,387	35,365	9,224	38,796	30,961	63,042	19,093	67,032	62,180	13,963
19	341,557	24,440	35,472	9,607	26,357	27,541	55,367	17,002	64,736	59,547	13,845
20	336,925	24,308	37,991	9,210	24,564	20,911	56,795	17,562	63,557	58,000	12,242

資料 総務省「都道府県決算状況調べ」、県財政課